

第12回肱川流域緊急対応タイムライン策定部会

○日程等

日 程：令和6年12月4日（水）10：00～11：30
 場 所：大洲河川国道事務所 2階会議室（Web併用）
 参 加 機 関：四国地方整備局（大洲河川、山鳥坂ダム、肱川ダム統管）、
 愛媛県（大洲土木事務所、西予土木事務所）、大洲市、西予市、内子町、
 大洲警察署、西予警察署、大洲地区広域消防事務組合、西予市消防本部、
 松山地方気象台
 東京大学大学院 松尾客員教授、愛媛大学大学院 森脇教授

次第

- 1.挨拶 （森脇教授）
- 2.防災に関する講話 （松尾客員教授）
- 3.令和6年意思決定訓練のふりかえり
- 4.令和6年出水期対応のふりかえり
- 5.肱川流域（水防災）緊急対応TL等の改善について
- 6.「タイムライン防災カンファレンス 2025 in 愛媛」について
- 7.その他
- 8.総評 （松尾客員教授）

○概要

第12回策定部会では、令和6年出水期対応のふりかえりや来年度の出水期に向けたタイムラインの改善について議論を行った。

令和6年タイムライン運用において、タイムラインを立ち上げた出水は5回あり、すべてにおいて危機感共有会議を開催した。流域タイムラインの最大ステージは5月下旬の前線、8月終盤の台風第10号による出水対応におけるステージ3であった。

台風第10号接近の際には、台風の動きが遅く台風進路予想等にも幅があったことから、6日間にわたる長期対応となり、危機感共有会議の回数も4回に及んだ。

また、情報共有サイトの改善を行い、メッセージの新規投稿があった際にはメールで通知が届く機能を追加し、各機関との情報連携に役立てることができた。

今年度の出水対応について、関係機関からいただいた良かった点・改善点等をふりかえり、改善点については、早期に改善を図り、次年度の出水に備えることとしている。

○状況写真



会議状況



松尾客員教授による講話